

R7 第2回学校評価 保護者アンケート からの主な改善提案

項目	主な意見	理由(保護者の声より)	今後の改善策の方向性
1. 学童保育の充実	・6年生まで利用できるのはありがたい ・長期休み前後も利用できるると助かる	共働き家庭にとって安心春・冬休み前後に困る	利用可能期間の拡大や、長期休み前後の受け入れ体制と利用料金を再度検討。改善点は広報でも強みとして打ち出す。
2. 学校滞在時間と宿題の見直し	・拘束時間が長い ・宿題が多い	帰宅後の自由時間がない先生の負担も心配	時間割や宿題量・質の見直しを行う一方、児童自身のスケジュール管理の方法(ソフト)なども学力担当PJで検討。
3. 探究・英語・ICT教育の再構成	・探究や英語の時間配分を見直してほしい ・タブレット学習の負担が大きい	基礎学力の形成が先スクリーンタイムが長くなる紙の方が定着する	教科バランスの見直し(7月まで)、要領改訂に並行してICT活用の目的と方法を明確化し、紙教材との併用方法を検討。
4. 教職員の質と体制の安定化	・先生の質に差がある ・若手教員の離職が心配	担任によって対応が異なる先生の健康が心配	教員間の連携強化、指導方針の共有、働きやすい環境整備と研修体制の充実を図る。
5. 校内環境と安全対策	・駐車場・送迎の安全性向上 ・ウォーターサーバー設置希望	接触事故の危険 水筒忘れ時の対応が不安	駐車場利用の自己責任と誘導体制や設備確認、ウォーターサーバー設置の可否を検討。
6. 制服・体操服の見直し	・長ズボンの導入希望(男女) ・体操服の名前刺繍の見直し	冬は寒い 名前が外に見えるのが不安	制服・体操服の仕様(特に冬制服、体操服の名前)を再検討し、保護者アンケートを通じて意見を集約。
7. 行事・イベントの工夫	・バザーや行事の時期・内容の見直し ・体育館の開放希望	行事が集中して負担 遊びや交流の場が少ない	年間行事の分散化、体育館の利用可能日を調整し、休み時間利用の可能性を探る。
8. 児童の声・個性の尊重	・子どもの意見をもっと聞いてほしい ・個性に合った学びを大切に	子どもが自分の学校を良くしたいと思っている 自己効力感が育つ	児童会及び委員会を活性化し児童の提案を反映する場を増やし、授業では個別の学びや表現の機会を広げる。
9. 情報共有と連絡体制の改善	・スマート連絡帳の使いづらさ ・行事予定の早期共有希望	翌日の予定が見えない連絡が重複・不明確	BREND への一元化と、全学級の情報入力の定着、情報発信のタイミングの見直し、保護者向けガイドの整備を検討。
10. いじめ・指導・生活面の対応	・暴言・私語・授業妨害への対応 ・トイレや登校時の不安	安心して通わせたい生活習慣やマナーの指導も大切	「児童への生徒指導に関する校内規程(案)」の確定と共有、生活指導の強化、保護者との連携体制を整える。